

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士 (医 学) 氏 名 岡 本 将 明

	主査	教授	村 上 正 晃
審査担当者	副査	教授	瀬 谷 司
	副査	准教授	森 松 組 子
	副査	教授	有 賀 正

学 位 論 文 題 名

C型肝炎ウイルス感染におけるウイルスRNA認識経路を介した生体応答の解析
(Analysis of biological response via viral RNA sensing pathway in HCV infection)

申請者は、C型肝炎ウイルス感染時に於ける自然免疫系の核酸認識経路の関与について検討を行った。その結果、HCV由来RNAに対するIII型IFN産生経路を明らかにした。また、III型IFNの機能として、細胞性免疫を直接には活性化せず、主に自然免疫を活性化することを示した。さらに、核酸認識経路がHCV RNAに応答し、細胞の分化に関わる因子を発現誘導することを見出した。本学位論文審査ではこのような研究結果をもとに、より詳細な機構や実験方法、本研究で新たに得られた知見の意義などについて議論がなされた。

審査にあたり、副査の有賀教授からは、本研究の実験デザインの妥当性について、臨床に於ける意義について質問があった。次に、副査の森松准教授からは今後の検討課題について質問があった。また、副査の瀬谷教授からは、現在のHCV研究における問題と対処についての言及があった、主査の村上教授からは、本研究の実験結果が、いかなるメカニズムに起因するものかについて質問があった。

この論文は、HCV感染防御に於いて重要な因子とされるIII型IFNの産生経路を明らかにするとともに、その機能の一端を示した点に於いて評価される。申請者は今後の実験への発展性も含め、いずれの質問にも、現在ある実験結果に基づいた論理的な回答を示し、審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や所得単位なども併せ、申請書が博士(医学)の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。